

H23年 4月 統一地方選挙
11月 大阪府知事・市長選挙
「大阪維新の会」が地下鉄民営化を
公約に掲げる

H25年2月
民営化条例案が上程される
(大阪市高速鉄道事業及び中量軌道事業の廃止に関する条例案)

H26年11月
**他会派の反対により
大阪市会本会議にて否決**

H27年2月
再び、民営化条例案が上程される
(大阪市高速鉄道事業及び中量軌道事業の廃止に関する条例案)

H27年2月
**他会派の反対により
大阪市会本会議にて否決**

H27年11月 大阪府知事・市長選挙
「大阪維新の会」が
地下鉄民営化を公約に掲げる

H29年2月
再び、民営化条例案が上程される
(大阪市交通事業の設置等に関する条例を廃止する条例案)

H29年3月
ついに、市会本会議にて **可決** 大阪メトロ
誕生!

改革により市民の皆様のための
政治・行政をつき進める!!
これが維新の考え方・手法・お約束です!!

大阪都構想実現で
さらに成長・発展、
住みやすい大阪へ!!

地下鉄民営化 軌跡 実現までの

維新の会
賛成
自民党 みらい
反対
公明党 共産党

維新の会
賛成
自民党 みらい
反対
公明党 共産党

2018 Vol.4

発行元 Vol.4 発行日/平成30年8月20日
大阪維新の会・大阪市議員団
〒530-8201 大阪府大阪市北区中之島1-3-20 大阪府役所8階

維新 JOURNAL

大阪都構想の
経済効果に関する
調査結果が発表されました!

特別区 にすると、

① 役所(基礎自治体)の
規模をもっと適正に

② 広域機能の一元化により
意思決定を迅速化

③ 効率化効果額1兆円を
より効率的な社会資本整備へ

財政効率化の効果
▶ **1兆円**

インフラ整備の経済効果
▶ **4800億円**

社会資本の経済効果
▶ **5千億円~1兆円**

※嘉悦大学付属経営経済研究所による調査 (注:上記数値はいずれも10年間の効果)

くわしい調査結果はこちら
大都市制度の経済効果に関する
調査検討業務報告書



地下鉄民営化で
“敬老パス” 年間負担3千円無償化!
交通(地下鉄)民営化実現により、年間3千円は新会社が負担

負担額が32倍以上に…

敬老パスの費用は、大阪市民
の税金で負担。S47年度に
2.5億円の予算で開始するも、
H24年度には81億円に膨張。

財政に余裕なし

H24年当時は小中学校のエア
コン設置も全く不十分、市の
財政に余裕が無い中、敬老パ
スの費用予測は年100億へ…

大反対の中、受益者負担へ

H25年7月より、年間3千円
と1回あたり50円の負担制度
を導入し、年間約30億円の財
源を捻出しました。

皆様へ感謝

時にはご負担をお願い
する大阪維新の会を応援
いただけるのおかげ
で、大阪はこんなに良
くなっています。

そして遂に!

今般、年間3千円の
利用者負担額を新会
社が販売促進費とし
て負担、無償化が実
現しました!

さらに…

その後、維新改革によっ
て地下鉄・バスの経営
は大きく改善!皆様の
応援のおかげで民営化
が実現!

そのおかげで…

5年間総額170億
円かけて大阪市内の
小中学校全ての普通
教室にエアコンを設
置できました。

(参考)

公立小中学校 普通教室エアコン設置率
(平成29年4月調査数値)

大阪市100%

全国 49.6%
大阪府 77.3%

税を **使う** から **納める** へ

民営化で「最高の安全・安心」「さらなる成長」を実現!

Osaka Metro Group 中期経営計画を発表!!

経営計画 (財務数値)

2024年度に

売上 2,100 億円

営業利益 430 億円

7カ年で

大阪市への財政貢献

700 億円

(年平均100億円)

を目指す!!

新型車両の導入



外観の洗練されたイベント列車の導入や、レア車両の導入を検討
(出典:Osaka Metro Group)

安全 安心対策



2021年度までに御堂筋線全駅、利用者10万人/日以上の全駅に設置

ホーム柵の設置前倒し

防災対策の 徹底強化



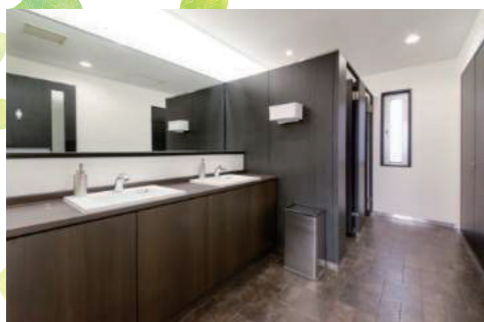
2021年度までに耐震・津波・洪水対策を完了
2026年度までに脱線対策・液状化対策を完了
全線で高架・トンネルの長寿命化工事を実施

トイレも過去と比べると見違えるようにキレイになりました!



グループ横断での利便性の向上

子育て層向け/
女性向けサービスの充実



レディースラウンジの新設
ベビースペースの増設

シニアに寄り添った
サービス提供

敬老パスの発行手数料無料化 (2018年7月)

シニア一日乗車券の発売 (2018年)

シニアの利用が多い系統の
バス運行本数拡充



(出典:Osaka Metro Group)

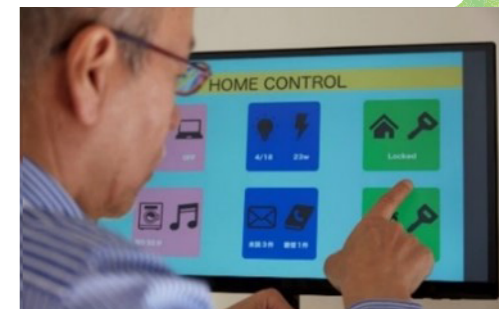
車内空間の快適性向上

照明・空清機能を
充実させた車両 (拡充中)



調光・調色機能と空気浄化装置を導入
通勤列車で国内初

車内AIコンシェルジュ
(2022年度~)



目的地への案内・乗り換え情報を提供
通勤列車で国内初

(出典:Osaka Metro Group)